

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	換気・通風小委員会		主 査 名：甲谷 寿史 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (空気環境運営委員会)		委員長名：岩田 利枝 主 査 名：柳 宇
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・室内気流、換気、通風に関連した諸問題の中で、全国調査、翻訳、既往文献調査、規準作成など、学会内に研究組織を設けた共同研究により解明するのが適当な内容について議論し、必要に応じてグループを設けて研究する。</p> <p>・2015 年度活動計画：学校空気環境の設計者向けの資料作成の準備、自然換気に関する英文書籍発行の準備、気密性能・気密測定に関するデータベース・ガイドライン作成の準備、換気・通風理論の基礎検討を行う。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし 主査：甲谷寿史，幹事：後藤伴延 委員：飯野由香利、内海康雄、遠藤智行、北山広樹、倉渕 隆、河野良坪、小林智広、庄司 研、田島昌樹、長谷川麻子、村田さやか、山中俊夫、吉野 博		
設置 WG (WG 名：目的)	(1) 学校空気環境 WG：快適な室内環境を実現するために、学校施設および設備が適切に運用されているか、現場視察等を通じて検討 (2) 自然換気 WG：実務者のための自然換気設計ハンドブックの英文翻訳、英文書籍刊行、最新の自然換気設計手法、事例に関して調査 (3) 気密性能 WG：国内外の住宅や高層建築物の気密性能・測定法の調査、国内外の気密性能に関する基準・指針等の調査、データベース作成準備 (4) 換気・通風基礎理論 WG：気流、換気、通風研究に関して計算理論及び測定理論の両面から整理、最新手法に関して調査		
2017 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1.
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第 26 回空気シンポジウム「PIV を中心とした可視化技術による空気環境測定法」2017 年 8 月 30 日
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 既存学校施設の現場見学を通じて、建築設備計画の運用上の問題点について議論した。さらに、委員外の研究者から話題提供をいただき、今後の課題を検討した。 2. 最新の自然換気研究及び自然換気建物事例に関する調査を行い、自然換気導入にあたっての研究課題や問題点を明らかにするとともに、現状認識の共有を行なった。 3. 国内外の研究・文献調査を行い、気密性能に関する指針・基準等のあり方について検討を行なった。建物用途別に気密のあり方に関する議論を行なった。 4. 換気・通風に関する計算理論的、測定理論的な研究の抽出・調査を行った。
委員会活動の問題点・課題	